放課後等デイサービス事業所における自己評価結果

討議年月日:令和3 年 3月 1日

公表:令和3 年 3月 22日　　事業所名　　風の子びれっじ 希生歩

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点・課題や改善すべき点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	7		長期期間中は風の子びれっじ花笑みを利用し、分散(多機能のため)したり、活動時間を調整している。利用人数に合わせてテーブル配置など工夫している。
	2	職員の配置数は適切である	6		利用者人数・送迎を考慮してスタッフ配置を行っている。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	3	3	玄関は階段があったり、段差が大きい部分がある。新しい畳みも段差がある為配慮不十分のように思う。バリアフリーになっていない箇所あり。車いす利用の場合、避難時に経路の確保が必要。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	6		主担当に頼りきりなことが多いがしっかりと事前共有されている為参画できている。事業所会議や日々のミーティングで共有し合えている。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	5		保護者様のご意見に沿えるよう話合いを行い改善に向けて取り組んでいる。また保護者様からご提案頂いた連絡ファイルの作成を行ったり、送迎時間の配慮を行っている。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	5		実施できている。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	2	2	現在は事業所スタッフのみで共有している為、相談支援員に相談、助言をいただいても良いのではないか。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	4	1	今年度はコロナの為中止が相次いだ。感染予防に努めながら3カ月に1度の社内研修は実施した。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	5		児発管を中心にお子様、保護者様から上手くニーズを引き出して他スタッフへ共有している。良い支援、共通した支援に繋げて頂いている。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	5		個々にあったアセスメントツールを使用しているが、まだ改善の必要もある。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	5		主担当を決めて動いている。主担当は活動プログラムを事前に共有し、改善が必要な場面はみんなで話あっている。毎月チームで話し合い季節や個々に合わせた活動プログラムを立案している。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	4	2	固定化されないようにイベントやお子様のスキルに合わせた工夫をしているが、「常に」は難しい部分もある。変化が苦手な方、新しい活動を楽しまれたい方、様々なので個々に合わせた対応を行っていく。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	6		長期休みは自立課題、スキルトレーニングの時間を設けて取り組んでいる。利用者の方1人1人に合わせた課題を立案し、取り組み後は共有を行っている。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成している	5		個々のスキルによって内容を変更したり、臨機応変に対応している。利用者の方、保護者の方のニーズや課題に合わせて作成している。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	6		支援前にミーティングの時間を設けている。会議などで時間が合わない場合はグループメールで共有し、情報漏れのないように努めている。その日の出来事は毎日の日報に記入して情報共有を行っている。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	4	2	「必ず」ではない日もあるが、必要な情報は共有したり、スマホを用いて支援内容や役割りの共有をしている。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	6		支援の内容を絞って記録を残している。また、改善できるように話合いの時間を設けている。会議で検証、改善のための話合い、実行までのスケジュールを立てている。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	5		定期的にモニタリングを実施し、達成度や改善していく点について話し合っている。利用者自身、また保護者様からの意見を最大限に尊重している。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っているか	4	1	ガイドラインに沿った基本活動プログラムを企画、実施している。活動は偏りが出ないように過去の活動や個々の資料を参考にしながら立案している。

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	6		児発管が参加している。事前に対象のお子様の状況を共有し、疑問等洗い出したものを会議に参画し、情報共有や改善に繋げている。また相談員からの情報は他スタッフへ共有しより良い支援へ繋げている。
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	5	1	学校迎え時にその日の様子を伺うことはあるが、年間計画、臨時休校等は保護者様、または学校サイトから確認することが多い。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている		5	現在、該当の方のご利用はありません。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	2	3	対象のお子様のご利用がない為なし。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	6		就労先、生活介護事業所への情報共有は出来ている。デイを卒業した後も継続して様子を確認している。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	3	3	支援センターと連携、共有をし多方面から助言を頂くことで、より良い支援へと繋げていく。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	1	5	今年度はコロナ禍ということもあり地域参加の機会が設けられなかった。事態が落ち着いたら検討していく。
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加している	3	3	児発管、管理者が参加してしている。協議会での情報は他スタッフへ共有している。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	6		送迎時、モニタリング時に話した内容に関しては直接、または連絡ツールを使用して共有している。また場合によっては併用事業所とも共有している。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント･トレーニング等の支援を行っている	1	5	今後積極的に進めて参ります。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	5		契約時、管理者から説明を行っている。疑問点に関してはその都度お答えしている。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	6		可能な範囲で助言、寄り添うことを心がけている。また事業所内や相談支援員とも共有をし、より良い支援について考えている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	2	4	毎年定期的に茶話会を実施しているが今年度はコロナ感染対策のため実施していない。事態の終息がみて開催を検討していく。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	6		保護者様からの助言、お言葉に関して真摯に受け止め丁寧に対応することを心がけている。頂戴したご意見は改善に向けて迅速に話合い共有を行っている。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	6		風の子だよりの発行、SNS（インスタグラム、ブログ）を活用した情報発信を行っている。保護者様にお子様の成長を確認して頂けるよう更新頻度を上げていく。
	35	個人情報に十分注意している	6		個人ファイルは鍵付きの書庫へ保管している。不要書類はシュレッダーへかけ、個人情報の流出がないよう徹底している。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	5		個々に合わせた情報伝達の方法を実施している。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	1	5	今年度はコロナ禍のため見合わせていたが、コロナ終息の目途が経ったら、クリスマス会、夏祭りなど地域の方と一緒に楽しめる企画を考えていく。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	1	2	社内で各委員会を設置している為、決定したマニュアルは共有していく必要がある。保護者の方に周知されているか疑問もある。今後確実に取り組んでいく必要がある。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	5		事業所では3カ月に1度災害訓練を行っている。報告書の作成と共に反省点や改善点について話し合い次回に活かしている。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	6		年に1度社内研修にて勉強、学ぶ場を設けている。研修では報告の義務についてや虐待の種類、事例検討などを行い虐待に関する理解を深めている。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	5	1	社内、事業所にて話合いを行い進めて参ります。そのようなケースはまだないが、予想されるようであれば保護者様と話合い計画書に記載していく。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	3	2	アレルギーの共有はされているが指示書の確認が出来ていない方もいる。早急に確認を進めていく。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	6		ヒヤリハットがあった際は、当日、または早急に事業所内で共有している。起きた事はすぐに改善できるように話合いの場を設けている。